

令和4年度 地域福祉活動支援事業 ホームページ用報告書

神奈川県社協ホームページに掲載しますので、助成事業の概要を簡潔に記入してください。

※必要事項を記入または☑ 1ページ以内に収まるよう作成

団体名	特定非営利活動法人アレルギーを考える母の会		
団体の属性	☑セルフヘルプグループ・当事者等		□ボランティアグループ等
	□市町村社協やそれを構成員とする実行委員会等		
助成区分	☑一般助成	□協働モデル助成	協働モデル助成 本会提示テーマ
助成事業名	小規模研修会・相談事業		
事業の目的	アレルギー患者を適切な医療につなぐ支援、教職員、保育士などの対応力向上のための研修機会の提供		
事業概要	<p>○事業の概要</p> <p>コロナ禍で神奈川県や市町村主催する講演会や研修会の減少が続く中でも、ぜん息やアトピー性皮膚炎、食物アレルギー、花粉症などに悩む当事者は増えている。相談を寄せる当事者に一日も早い健康回復のための情報提供を、サポートする側の専門職には適切な病態理解や対応を知る研修機会を提供し患者支援の対応力の向上を図る事業を行った</p> <p>○母の会スタッフによる相談対応</p> <p>当事者や専門職の希望に合わせ、県民センター相談室（毎月第4火曜日午前）や電話、FAX、メール等で400人ほどから寄せられた延べ2000件の相談に対応した</p> <p>○研修会の開催</p> <p>希望する自治体や施設向けに小規模研修会を7回実施し245人が参加した。「身近でより現場に生かせる分かりやすい内容で行ってほしい」と、すべての回とも専門医ではなく「母の会」スタッフを講師にした研修の依頼だった。具体的には下記の研修会等を開催した</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年5月11日：横浜市保土ヶ谷区のセントメリー幼稚園、職員20人が参加 ・6月3日：川崎市中原区の宮内こども文化センター（児童館）、スタッフ25人が参加 ・6月21日：伊勢原市児童コミュニティクラブ、支援員50人が参加 ・8月3日：横須賀市教育委員会の学校向け食育研修講座、オンラインで70人が参加 ・8月26日：厚木市立南毛利小学校、職員50人が参加 ・12月13日：相模原市の太陽の子幼稚園、職員12人が参加 ・令和5年2月21日：伊勢原市幼稚園・保育所向け食育研修会、18人が参加 		
成果や課題	<p>○治療の見直しで正しい理解、正しい診断、正しい対応に代わり健康回復した感謝の声が多く寄せられた</p> <p>○花粉で重篤な症状であるアナフィラキシーを起こす、食べて7時間後くらいから消化管アレルギーで夜中から明け方まで嘔吐・下痢を繰り返すなど、アレルギー病状の新たな課題が増えている</p> <p>○原材料表示のある店と打ち合せしたはずの外食でアナフィラキシーを起こして怖い思いをした、発達障害と食物アナフィラキシーを合併した学齢期を過ぎた患者の就業受け入れ先がない、ひどい皮膚症状でいじめに苦しみ不登校になったなど、社会的に積み残された課題が浮き彫りになった</p>		
今後の展望	<p>患者にとって不可欠なリアルタイムの相談活動や、施設などでの小規模研修を継続して実施するとともに、現場の実態を各省庁やアレルギー関連学会等に報告し、現場目線で課題解決に全力をあげてもらえるよう建設的に粘り強く提案し続けていきたい。身近な窓口となる県内の各自治体とも、「アレルギーポータル」で紹介されている動画や公的啓発無償資料を中心に、当事者に必要な良質な情報の共有や活用を促していきたい。また近年、災害も頻発しているので、県内市町村を中心にアレルギーに関する災害対策の啓発にも取り組みたい</p>		
活動の様子が分かる画像 2枚程度添付	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>厚木市立南毛利小学校で行われた研修会（8月26日）「太陽の子幼稚園」で行われた研修会（12月13日）</p>		